

# 結果を表す形容詞状語文と重ね型形容詞 — 事象の個別具体性の観点から —

野 田 耕 司

キーワード：重ね型形容詞、形容詞状語文、結果状語文、広義の出現文・存在文、  
事象の個別具体性

## 0. はじめに

### 1. 形容詞状語文の成立可否と形容詞の形式

#### 1.1. 形容詞状語の意味と形容詞の形式

#### 1.2. 二音節形容詞と形容詞状語文

#### 1.3. 重ね型形容詞と形容詞状語文

### 2. 重ね型形容詞と結果状語文

### 3. 結果状語文の構文的意味と事象の個別具体性

### 4. 重ね型結果状語による事物目的語の出現・存在の強調

### 5. おわりに

## 0. はじめに

現代中国語において状語（連用修飾語）となる形容詞の多くが、単独の性質形容詞（属性形容詞とも）<sup>1)</sup>ではなく、「程度副詞＋性質形容詞」の形容詞句や重ね型形容詞<sup>2)</sup>のような複雑形式をとって具現化すること<sup>3)</sup>はよく知られている。

- (1) a \*路边高大地立着几座架线铁塔。(郑贵友 2000)<sup>4)</sup>
- (1) b 路边非常高大地立着几座架线铁塔。(郑贵友 2000)  
(道端に送電鉄塔がいくつか非常に高く大きく立っている。)
- (1) c 路边高高大大地立着几座架线铁塔。(郑贵友 2000)  
(道端に送電鉄塔がいくつか高々とでっかく<sup>5)</sup>立っている。)
- (2) a \*淡蓝色的墙壁上高贴着一排鲜红的字。
- (2) b 淡蓝色的墙壁上高高地贴着一排鲜红的字。(CCL)  
(薄青色の壁には鮮やかな赤い色の文字が一列に高々と貼られている。)

本稿では、複雑形式のうち重ね型形容詞が性質形容詞に比べ状語として多用される要因を探る。その要因の一つとして本稿が着目するのが、形容詞を状語とする文（以下、形容詞状語文）の表す事象の個別性・具体性と形容詞の形式との関係である。個別具体性の高い事象、すなわち特定の時空間に現れた特定の参与者（動作者、受動者など）の関わる具体的な動作・状態を表す出来事であればあるほど、その参与者、動作、状態の有様を状語で表現するのに重ね型形容詞を多用するのではないかというものである。

まず、重ね型形容詞が状語として多用される形容詞状語文とはどのような構文的意味を具える文であるかを明らかにするために、状語の表す意味（例えば、動作者の心理状態、動作の方式・様態、受動者の様態、など）によって分類した各種の形容詞状語文が、二音節性質形容詞、重ね型形容詞のうち、どの形式を持つ形容詞を状語として多くとるかについて、先行研究をもとに調べてみた。なお、単音節性質形容詞については、修飾関係を結ぶ述語動詞（多く単音節動詞）との組み合わせに制限があり、熟語性が認められる（例えば(2)aの“高貼”は言えないが、“高举”〈高く掲げる：通常は連語ではなく単語扱い〉は言える）ため、調査対象外とし、単音節形容詞の重ね型については比較的自由に述語動詞と結びつくため、重ね型形容詞として調査対象に含めた。

調査の結果、状語に重ね型形容詞を好んで用いる形容詞状語文とは、述語動詞が表す動作の終結後に、目的語名詞が担う参与者（事物）が呈する結果性の様態を状語が描く次のような文（「結果状語文」と総称する）であることが明らかになった<sup>6)</sup>。

(3) 他圆圆地画了一个圈。(用法)

(彼は円を一つまあるく描いた。)

(4) 我真真切切地看到了海市蜃楼。(重叠)

(私ははっきりと蜃気楼を目にした。)

(5) 桌上厚厚地堆着各种书籍和材料。(雅虎)

(机には様々な書籍や資料が高々と（←分厚く）積み上げられている。)

結果状語文を構成する文には、例文のように生産（製作）義、感覺義、定置義（広く言うと付着義）などを表す動詞を述語動詞にとって、事物の出現（生産すなわち産出や、感覺受容は、ともに広義の出現）や存在（定置すなわち付着は広義の存在）を構文的意味として表す文が多い。本稿では、これら重ね型形容詞を多用する形容詞状語文の意味特徴である「動作後の結果性の様態」「事物の出現・存在」と、文の表す「事象の個別具体性」との関連性から、状語として重ね型形容詞が多用される構文上の要因の一端を明らかにした。

更にこれら結果状語をとる広義の出現文・存在文において、目的語として具現化する事物を目立たせ、且つ事物が出現したり存在したりする過程を強調して描くために、状語に事物の様態を表す重ね型形容詞を用いるという仮説を立て、検証を試みた。

本稿の結果状語に類する形容詞状語の研究に関しては、主なものとして郑贵友 2000、石田 2001、卢建 2003 a・b、黄春玉 2004・2005・2011、李劲荣 2007が挙げられる。

これらの研究では結果状語に類する形容詞状語が、“指宾状语”（李劲荣

2007)、“摹物状語”(卢建 2003a・b)などと呼ばれるが、結果状語が基本的に目的語名詞を描写対象とし、その目的語名詞は通常、事物を表すことから、これらの名称で呼ばれる状語と結果状語は基本的に同一のものである。

これらの形容詞状語と重ね型形容詞との関係に関しては、卢建 2003aが「妈妈稠稠地熬了锅粥。(お母さんがお粥をとろとろに煮た。)→妈妈熬了锅稠稠的粥。(お母さんがとろとろのお粥を煮た。)」のように定語(連体修飾語)に置き換え可能な、生産(製作)義を具える文の“摹物状語”に重ね型形容詞が用いられる理由について、形容詞の重ね型は話し手の意志や感情を含んだ“主观估价”(主観的評価)機能を具える形式であり、そのような働きは「動作者が意識的に受動者に対して何らかの動作を加え、その動作の過程において徐々に現れてくるある種の状態を成立させる」という“摹物状語句”の構文的意味に整合すると述べている。しかし、動作者名詞が現れない本稿の例文(5)のような結果状語文に重ね型形容詞が多用される説明としては不十分である<sup>7)</sup>。

李劲荣 2007もまた重ね型形容詞を含む状態形容詞には“主观评价”(主観的評価)の意味が含まれており、状語に用いることによって“指宾状語句”の具える主観的な意志性を表すことが可能であると述べ、更に重ね型形容詞の具える“量性”(量性)の意味特徴により、重ね型形容詞を状語の位置に用いて、程度の強化・強調、すなわち量が次第に増大することが表現できると述べる。

郑贵友 2000, 84-85, 102では、状語が目的語名詞を描写対象とする三種類の形容詞状語文(“制作类”〈製作類〉、“呈现类”〈呈現類〉、“感知类”〈感覺・知覚類〉)はいずれも通常、重ね型などの複雑形式を状語にとるとし、(3)のような製作類に用いられる重ね型形容詞には意味上、“非実言性”(虚言性)や“夸说性”(誇張性)が、(5)のような呈現類に用いられる重ね型には、“夸说性”とともに“暫定性”(暫定性)が具わっていると述べる。

石田 2001は、刘月华 1983が「M3状語」と呼ぶ目的語名詞を描写する状語に用いられる二音節形容詞の三つの形式(原型、程度副詞+原型、重ね型)について考察を加えているが、このうち重ね型(AABB式)が使用される理由を次の

ような例文（訳も）をいくつか挙げて、「AABB式は、話し手の予想する事態、多くの場合、その形容詞の指し示す性状を帯びない事態との対比のうちに使用されることが多い」と述べる。

- (6) 在这一声里，包善卿清清楚楚地听见了自己女儿的声音。(老舍《蛤藻集》)  
 (包善卿には、この(“打倒卖国贼”という)声の中に、(大勢の学生による叫び声の中に一人の人間の声を聞き取ることなどできるわけもないのに)自分の娘の声ははっきりと聞こえた。)

つまり、状語に重ね型を使うことで表現上、文全体に「意外性」のニュアンスを生じさせることができるということであろう。

黄春玉 2004・2005・2011では、本稿の結果状語にほぼ相当する「結果の意味を表す形容詞状語」(「結果状語」と略称)に関して、共起する動詞句の類型や結果状語表現の意図性・制御性について述べているが、状語に重ね型形容詞が多用される理由は述べられていない。

## 1. 形容詞状語文の成立可否と形容詞の形式

### 1.1. 形容詞状語の意味と形容詞の形式

状態形容詞、特に重ね型形容詞が性質形容詞に比べ状語の位置に現れ易いことは、既に朱徳熙 1956で指摘されており、複数の研究者のデータなどによっても裏付けられている。例えば、齐沪扬・王爱红 2001では、状語になり易い形容詞の序列を次のように記す([++]は状語になる文法機能が最も強い、[+]はその次に強い、[(+)]はやや弱い、[-]は通常その文法機能を具えない、ことを示す)。

重ね型形容詞[++] > 性質形容詞[+] > [程度副詞+形容詞]<sup>8)</sup>[(+)] > BA型状態形容詞<sup>9)</sup>[-]

また、刘振平 2015, 88でも重ね型形容詞が性質形容詞に比べて状語の位置に

現れ易いことがデータによって示されている (%は各形容詞の中で状語機能をもつものの割合。二音節形容詞、単音節形容詞は性質形容詞の形式上の下位類)。

重ね型形容詞 (ABB型 > AABB型 > AA型)	>	二音節形容詞	>	単音節形容詞
(90.5%) (95.3%) (91%) (87.4%)		(67%)		(20%)

性質形容詞と重ね型形容詞に見られる状語機能に関するこのような差異は、これまでの先学の研究から次のように説明することができる。

性質形容詞、なかでも単音節形容詞が状語になり難い理由としては、単音節性質形容詞は意味的に事物の恒常的な属性を表して、事物を表す名詞を分類する表現機能をもつため、事物名詞を主語とする文の述語 (“十五的月亮圆，十六的月亮更圆”：十五夜の月は丸いが、十六夜の月をもっと丸い) や、事物名詞を修飾する定語の位置 (“圆领儿、尖领儿”<sup>10)</sup>：シャツなどの丸首、Vネック) には現れ易いが、性質形容詞の典型とも言える単音節形容詞は特に動作・行為を分類する機能に乏しいため、動作動詞を修飾する状語の位置 (“\*圆画了一个圈”：円を丸く描いた) には現れ難いのだと説明することができる。

一方、重ね型形容詞が状語になり易いのは、重ね型形容詞は眼前の事物や動作などの様態を具体的、リアルに描いて事物名詞や動作動詞を描写する表現機能を有するため、述語 (“她的脸圆圆的”：彼女の顔は真ん丸だ) や定語 (“圆圆的眼睛”：真ん丸の目) 以外に、動詞を修飾する状語の位置 (“圆圆地画了一个圈”：円をまあるく描いた) に現れることも容易である。

単音節形容詞を典型とする性質形容詞の表現機能は基本的に事物の分類であるのに対して、重ね型形容詞を典型とする状態形容詞の表現機能は事物や動作の描写であることが、両形容詞の状語としての生起状況に影響を与えているのである。

このように、性質形容詞は重ね型形容詞に比べると相対的に状語になり難いとは言え、二音節形容詞の場合“地”を後置すれば状語として比較的用いられ易くなる側面もないわけではない。

(7) ?福建附属第一医院门诊部的记录本上清楚记录着每周的看病人数, ……

(7') 福建附属第一医院门诊部的记录本上清楚地记录着每周的看病人数, ……  
(CCL)

(福建附属第一病院外来診療部の記録簿には週ごとの診察者数がはっきり  
と記録されており、……)

(8) ?他正在灵巧摆动着那把白纸扇, 一霎时, 许多演员都用钢笔或其它小物件代替扇在手中旋转起来。

(8') 他正在灵巧地摆动着那把白纸扇, 一霎时, 许多演员都用钢笔或其它小物件代替扇在手中旋转起来。(谷歌)

(彼がその白扇子を器用に振っていると、瞬く間に、劇団員の多くがペンやその他の小物を扇子の代わりにして手の内で回し始めた。)

しかしながら、それでもやはり (1) a・(9) のように二音節形容詞が状語位置に現れることが難しい文が存在する。

(9) \*今天, 小张漂亮地穿了一套时新的衣服。

また状語になり易いとされる重ね型形容詞も構文によっては次のように状語位置に現れ難い場合がある。

(10) \*面对这惨状, 她不由得惊惊恐恐地叫了起来。

(11) \*她慌慌忙忙地停下脚步一看…… (原 1988)

なお、(1) a・(9) は、それぞれ (1) c・(9') のように状語を重ね型形容詞にすることにより自然な文になる。

(9') 今天, 小张漂漂亮亮地穿了一套时新的衣服。(郑贵友 2000)

(今日、張さんは流行の服をきれいに着こなしている。)

(1) c・(9') は、述語動詞Vの表す動作後に目的語名詞の担う事物(事物目的語)が呈する結果性の様態を状語が表しており(郑贵友 2000, 155-156は(9')の動作者主語も状語の様態を具えとする)、この種の構文では、状語位置に生起する形容詞は二音節形容詞ではなく重ね型形容詞が多い。一方、状語が重ね型形容詞では不自然となる(10)(11)は、状語が動作者主語の心理変化を表しており、このような構文では、状語には二音節形容詞が用いられる。これらの理由については後述するが、このように状語位置に現れる形容詞の形式は、状語の表す意味によって決定づけられる側面がある。

次の表1・2は、形容詞状語文における状語の描写対象ならびに状語の表す意味と、状語として生起可能な形容詞の形式、すなわち単純形式であるAB型の二音節性質形容詞(本文では二音節形容詞と略す)、複雑形式であるAA、AABB、ABB型などをとる重ね型状態形容詞(本文では重ね型形容詞と略す)との関係を示したものである<sup>11)</sup>。

表1は形容詞状語が動作文に現れる場合、表2は「V着」存在文に現れる場合である。形容詞状語が現れる動作文とは原則として、「NP(動作者) + 形容詞状語 + V(動作) + NP(受動者/生産物)」や「NP(動作者) + 形容詞状語 + V(移動) + NP(到達点)」を指す。「V着」存在文とは「NP(場所) + 形容詞状語 + V着 + NP(存在主体)」を指し、動作が終結した後の人や物の結果状態である静態の持続を表す「静態存在文」と、動作を状態と捉え、その動態の持続を表す「動態存在文」の二つに分けられる。表中の○は生起が容易であること、×は生起が困難であること、△は生起可能なものと不可能のものとの混在していることを示す。

表1 動作文における形容詞状語の描写対象・意味と形容詞の形式

形容詞状語の描写対象	形容詞状語の表す意味	状語となる形容詞の形式	
		単純形式	複雑形式
		二音節性質形容詞 (AB型性質形容詞)	重ね型状態形容詞 (AA, AABB, ABBなどの重ね型状態形容詞)
動作者	①動作者の心理変化	○ <sup>12)</sup>	×
	②動作者の心理状態	○	○ <sup>13)</sup>
	③動作者の表情・態度	○	○
受動者 (生産物も含む)	④受動者の様態	△ <sup>14)</sup>	○
	⑤受動者 (= 感覚対象) に対する感覚上の様態	×	○
動作 (結果状態を含意した動作含む)	⑥動作の方式・様態	○	○
	⑦動作後の結果状態	○	○
事象	⑧事象に対する話者の心的態度	○	×

表2 「V着」存在文における形容詞状語の描写対象・意味と形容詞の形式

形容詞状語の描写対象	形容詞状語の表す意味	状語となる形容詞の形式	
		単純形式	複雑形式
		二音節性質形容詞 (AB型性質形容詞)	重ね型状態形容詞 (AA, AABB, ABBなどの重ね型状態形容詞)
存在の主体	⑨存在主体の様態	×	○ <sup>16)</sup>
静態の持続	⑩動作後の結果状態	○	○
動態の持続	⑪動態の様態	×	○

## 1. 2. 二音節形容詞と形容詞状語文

二音節形容詞が状語として生起可能な形容詞状語文とは、表に示すように状語

の表す意味が、①「動作者の心理変化」、②「動作者の心理状態」、③「動作者の表情・態度」、④「受動者の様態」、⑥「動作の方式・様態」、⑦「(動作文における)動作後の結果状態」、⑧「事象に対する話者の心的態度」、⑩「(静態存在文における)動作後の結果状態」、のものである。次に例文を挙げる。

(12) 面对这惨状，她不由得惊恐地叫了起来。(中学生) ～ ①

(この惨状を前にすると、彼女は思わず恐れおののいて叫び声をあげてしまった。)

(13) 孩子们高兴地在幼儿园里玩耍。(中学生) ～ ②

(子どもたちは楽しそうに幼稚園で遊んでいる。)

(14) 他恭敬地把贵宾送出门外。(中学生) ～ ③

(彼は恭しく貴賓を門の外に送り出した。)

(15) 她用毛笔工整地写下两行小字。(新编) ～ ④

(彼女は毛筆で丁寧に小さな字を二行書いた。)

(16) 那一天，国旗平安地到达了目的地。(CCL) ～ ⑥

(その日、国旗は無事に目的地に到着した。)

(17) 她已经牢固地掌握了有关的基础理论。(多功能) ～ ⑦

(彼女は既に関連する基礎的な理論をしっかりと把握している。)

(18) 张氏意外地碰了一个钉子，也并不生气。(新编) ～ ⑧

(張氏は意外なことに断られても、さほど腹を立てなかった。)

(19) 每只梭子蟹的蟹钳上都结实地绑着棕红色的粗橡皮筋。(谷歌) ～ ⑩

(どのワタリガニのハサミにも赤褐色の太い輪ゴムがきつく縛られている。)

なお、④は次のように生起不可能な形容詞もあり、郑贵友 2000, 85によれば、これら人や物の恒常的属性を表す形容詞は単独では不可だが、(20') (21') のように程度副詞を加えることにより生起可能になると述べる(ちなみに、例文の“轻便”“简陋”は重ね型をとらない形容詞である)。

(20) \*他轻便地做了一辆车。(郑贵友 2000)

(21) \*村民们简陋地盖了几间草棚。(郑贵友 2000)

(20') 他十分轻便地做了一辆车。(郑贵友 2000)

(彼は非常に軽便な (←軽便に) 自転車を一台作った。)

(21') 村民们非常简陋地盖了几间草棚。(郑贵友 2000)

(村人たちは非常に粗末な (←粗末に) 藁葺き小屋をいくつか建てた。)

“轻便”（〈装備や設備が〉軽便である）、“简陋”（〈建物や設備が〉粗末である）といった形容詞は、郑贵友 2000の指摘する意味特徴や文法的振る舞いを見る限り、二音節形容詞の中でも、単音節形容詞を典型とする性質形容詞としての性格を色濃く具え、性質形容詞のプロトタイプに近い形容詞と位置付けられそうである。

(20) (21) のように、二音節形容詞が状語として生起し難い形容詞状語文は他にもある。状語の表す意味が、⑤「受動者（＝感覚対象）に対する感覚上の様態」、⑨「存在主体の様態」（更に、⑨a 静態存在文における存在主体の様態、⑨b 動態存在文における存在主体の様態、に分類）、⑪「動態の様」、の場合、二音節形容詞は基本的に状語になることが難しく、次の例文のように文法的に不適格か不自然な文となることが多い。その理由については後述する。

(22) \*张老汉一个一个推了一遍，连动也不动，又用手摸胸口时都是冰凉，粘糊地摸下两手血，知道是都炸死了。～ ⑤

(23) ? 梢门上歪斜地写着“骡马大店”几个大字。～ ⑨a

(24) ? 头顶的上空，孤零地飞着一只燕子形状的风筝。～ ⑨b

(25) \* 刚刚下过雨的马路上蹦跳地走动着青蛙。<sup>17)</sup> ～ ⑪

### 1.3. 重ね型形容詞と形容詞状語文

重ね型形容詞が状語として生起可能である形容詞状語文は、二音節形容詞が状

語のものよりも一つ多く、二音節形容詞を状語とするもの8類(△の④も含む)に対して、重ね型形容詞は①⑧を除く9類が状語として生起可能である。すなわち、状語の表す意味が、②「動作者の心理状態」、③「動作者の表情・態度」、④「受動者の様態」、⑤「受動者(=感覚対象)に対する感覚上の様態」、⑥「動作の方式・様態」、⑦「(動作文における)動作後の結果状態」、⑨「存在主体の様態」(⑨a 静態存在文における存在主体の様態、⑨b 動態存在文における存在主体の様態)、⑩「(静態存在文における)動作後の結果状態」、⑪「動態の様」、の場合である。次に例文を挙げる。

- (26) 小学里，到了课间休息的时间了，孩子们高高兴兴地玩耍着。(谷歌) ~ ②  
(小学校は、休み時間になり、子どもたちがとても楽しそうに遊んでいる。)
- (27) 他恭恭敬敬地把老人送到门外，直到老人上了车，他才回去。(中学生) ~ ③  
(彼は老人が車に乗り込むまでずっと、とても恭しく老人を門の外に送り出すと、やっと家の中に戻った。)
- (28) 我接过签名簿，在空页上工工整整地写下了“丹尼尔斯”四个汉字，并在每个字的下面用罗马字母注上了读音。(CCL) ~ ④  
(私は署名簿を受け取ると、空いているページに「丹尼尔斯」の四つの漢字をきちんと丁寧に書き、それぞれの字の下にローマ字で読み方を付けた。)
- (29) 张老汉一个一个推了一遍，连动也不动，又用手摸胸口时都是冰凉，粘糊糊摸下两手血，知道是都炸死了。(重叠) ~ ⑤  
(張老人は一人ひとり押したが少しも動きはせず、また手でみぞおちを触ってみると冷たく、ねっとりと血が両手に触れ、皆爆死していることがわかった。)
- (30) 我们平平安安地到达了目的地。(作文) ~ ⑥  
(我々は平穩無事に目的地に到着した。)
- (31) 大家七手八脚，像捆猪一样，结结实实地把这个歹徒捆了起来。(CCL) ~ ⑦  
(皆で寄ってたかって豚を縛るように、この暴徒をしっかりと縛り上げた。)
- (32) 梢门上歪歪斜斜地写着“骡马大店”几个大字。(重叠) ~ ⑨a

- (通りに面した門には「驛馬大店」の大きな字がいびつに書かれている。)
- (33) 头顶的上空，孤零零地飞着一只燕子形状的风筝，……。 (谷歌) ～ ⑨b  
(頭上には、ツバメの形をした凧が寂しく飛んでおり、……)
- (34) 竹筐里已经装满了果苗，果苗上严严实实地盖着塑料布。(重叠) ～ ⑩  
(竹かごの中には果実の苗がいっばいに詰め込まれていて、苗はビニールの布にぴったりと覆われている (←苗にはビニールの布がぴったりと覆っている。))
- (35) 刚刚下过雨的马路上蹦蹦跳跳地走着青蛙。(郑贵友 2000) ～ ⑪  
(雨が降ったばかりの道にトノサマガエルがピョンピョンと跳ね回っている。)

上記の例文のように、ほとんどの形容詞状語文が重ね型形容詞を状語にとるのに対し、状語の表す意味が①「動作者の心理変化」、⑧「事象に対する話者の心的態度」の場合は重ね型形容詞を用いることが難しい<sup>18)</sup>。

まず、状語の表す意味が①の場合、先の(10)(11)のように重ね型形容詞を状語に用いると不自然な文になってしまうのであるが、それは重ね型形容詞には性質形容詞と違って「量性」(「程度性」)が具わっているためである。人の感情を表す形容詞が重ね型の形式をとり状語となって述語動詞を修飾する場合、その動作・状態は基本的に「持続性」を伴っており、持続する動作・状態とともに現れる動作者(主語)の感情もまた、「時間の幅」を必要とする。重ね型形容詞には量性が顕著に具わっているため、この時間の幅を描くことができるのであるが<sup>19)</sup>、状語が動作者の心理変化すなわち「時間の点」「瞬間」を描く場合、重ね型形容詞は量性を具えるが故に不適切になる。

(10)は(12)のように、(11)は次のようにそれぞれ状語を、重ね型形容詞に比べれば量性に乏しい二音節性質形容詞に換えることで、状語が動作者の心理変化を表すことができる<sup>20)</sup>。

- (36) 她慌忙地停下脚步一看…… (原1988: 訳も)

(彼女は慌てて足を止めて見ると……)

人の感情を表す形容詞が重ね型の形式をとって状語となった場合、状語の表す意味は基本的に「動作者の心理状態」であり、次の例文のように連用修飾を受ける述語動詞はアスペクト助詞の“着”を伴うなどして持続を表すことが多い<sup>21)</sup>。このような文では、感情と動作は融合して一つの事象（「恐る恐る眺める」「あわただしく探す」）を表している。

(37) 所有的猫和狗，都爬到房顶上惊惊恐恐地望着村人们。(谷歌)

(全ての犬や猫が屋根に登って、恐る恐る村人たちを眺めている。)

(38) 记得那是一个雨雾迷蒙的早晨，我在家中慌慌忙忙地寻找着我家的伞。(谷歌)

(それは霧雨に煙る朝のこと、私は家であわただしく家の傘を探していた。)

このように人の感情を表す重ね型形容詞が状語になった場合には動作者の心理変化ではなく心理状態を表すわけであるが、人の感情を表す二音節形容詞もまた表1や(13)で示した通り、状語となって心理状態を表すことが可能である。次の(39)は(37)と同じ動詞を述語とする文であるが、やはり感情と動作が一体化しており（「驚いた様子で眺める」）、形容詞状語は心理状態を表していると言える。

(39) 紧跟在后边的象都停住了脚步，惊恐地望着在淤泥里挣扎的老象。(中学生)

(後ろにくっついていて象たちは足を止め、泥の中であがいている年老いた象を驚いた様子で眺めていた。)

では、(37)と(39)の差は何か。程度や持続性といった量的な差なのであろうか。動作者の心理状態や表情・態度を表す形容詞状語の形式の違いが意味に及ぼす差については、今後の研究課題としたい。

次に、状語の表す意味が⑧「事象に対する話者の心的態度」となる形容詞には、

(18) の“意外”や次の文の“可耻”“可怜”“遗憾”などがあるが、これらの形容詞はそもそも重ね型をとらない<sup>22)</sup>。

(40) 就这样，他可耻地投降了。(新编)

(こうして、彼は耻ずべきことだが投降した。)

(41) 他可怜地忽前后动弹着，好像一个婴儿爬动。(CCL)

(彼は哀れにも前に後に体を動かし、その様はまるで赤ん坊が這っているかのようにであった。)

(42) 相信不少人因分不清有机物和无机物而遗憾地把垃圾扔错了地方。(HSK听力自测)

(多くの人は有機物と無機物の区別がはっきりしないために、残念ながらゴミを捨てる場所を間違ってしまったものと思われる。)

よって表では×印をつけたが、実は次の例文のように“可怜”や“糊涂”を拡張させた“可怜巴巴”や“糊里糊涂”と言った重ね型形容詞が状語となって事象に対する話者の心的態度を表す文もないわけではない。

(43) 看到村里仍然很穷，大人千方百计把孩子养大以后，孩子却无力赡养父母，许多老人都可怜巴巴地没人管，使我又一次感到挣钱是一份责任。(CCL)

(村は相変わらず貧しく、大人があらゆる手立てを尽くして子供を育て上げたとしても、子どもは親を養うだけの力がないため、非常に可哀なことに年寄りの多くが誰からも世話をしてもらっていない。このような状況を目にして、私はお金を稼ぐことが果たすべき責任であると今一度感じた。)

(44) 那时，我竟糊里糊涂地没听父亲的话，现在回想起来仍感到遗憾。(日语：訳も)

(あの時おろかにも父の言うことを聞かなかったのが、今になってみるとざんねんです。)

ただ、状語としての“可怜巴巴”は普通、動作者の心理状態を表すことが多い。

(45) 锁子可怜巴巴地看了他一眼。(CCL)

(鎖子はとても悲しそうに彼を見た)

(46) 孩子眼里含着泪，可怜巴巴地瞅着他。(小学館：訳も)

(子供は目に涙を浮かべて、とても悲しそうに彼を見つめていた。)

## 2. 重ね型形容詞と結果状語文

既に見たように、状語に二音節形容詞が用いられ難く、重ね型形容詞が多用されるのは、状語の表す意味が⑤「受動者 (= 感覚対象) に対する感覚上の様態」、⑨「存在主体の様態」(⑨a 静態存在文における存在主体の様態、⑨b 動態存在文における存在主体の様態)、⑪「動態の様」、の場合であり、また、④「受動者の様態」の場合も状語として一部の二音節形容詞が使われるものの、大半は重ね型形容詞が使用されていた(注14参照)。では、これらの意味の状語にはなぜ二音節形容詞ではなく重ね型形容詞が多用されるのであろうか。以下、重ね型形容詞が状語として多用される形容詞状語文(重ね型形容詞状語文)の構文的意味と、形容詞状語文の表す事象の個別具体性の観点からこの問題を考えてみたい。先ず、重ね型形容詞状語文の例文を状語の意味別に挙げる(一部、再掲)。

(47) (= (3)) 他圆圆地画了一个圈。(用法) ~ ④

(彼は円を一つまあるく描いた。)

(48) (= (4)) 我真真切切地看到了海市蜃楼。(重叠) ~ ⑤

(私ははっきりと蜃気楼を目にした。)

(49) (= (5)) 桌上厚厚地堆着各种书籍和材料。(雅虎) ~ ⑨a

(机には様々な書籍や資料が高々と積み上げられている。)

(50) 天边淡淡地飘着几朵白云，…… (CCL) ~ ⑨b

(遠い空に白い雲がいくつか薄く漂っていて、……)

(51) 水面上轻飘飘地浮着一层海产植物, …… (CCL) ~ ⑩

(水面には海草類がふわふわと浮かんでいて、……)

⑨b・⑩の動態存在文を除いた上記の重ね型形容詞状語文には共通点があり、それは状語が[+結果性]の意味特徴を具えるということである。つまり、述語動詞Vの表す動作の後に、動作の参与者である事物(目的語名詞)が呈する結果性の様態((47)「(描かれた円が)まあるい」、(48)「(見えた蜃気楼が)はっきりしている」、(49)「(積まれた書籍や資料が)厚い→高い」)を、状語が表すということである。⑨b・⑩を除いて、状語は全て動作後の結果を描いているのである。なお、動態存在文の状語の表す様態は動作(動き)とともにあり、また「動作」(V)と「結果」(V着)の区別も(50)の“飄”(漂う)と“飄着”(漂っている)のように些か曖昧である。このことは、静態存在文などが(49)のように動作“堆”(積み上げる)と結果“堆着”(積み上げられている)を明瞭に分けることができるのと対照的である。

ところで⑤については少し説明が必要かもしれない。⑤の状語は「受動者(=感覚対象)に対する感覚上の様態」を描くが、その様態は、視覚・触覚などを表す動作(V)が感覚を受容した後に現れる。例えば、先の(29)の状語である“粘糊糊”(ねっとりとしている)はみぞおちの血に触れた後で得た感覚であり、(48)の“真真切切”(はっきりしている)も蜃気楼が目に入った後でそのように感じたのである。⑤のタイプの形容詞状語文は通常、Vの後ろに感覚を受容したことを表す結果補語“到、見”などの付加成分が置かれることから<sup>23)</sup>、このことが裏付けられる。

なお、⑦「(動作文における)動作後の結果状態」、⑩「(静態存在文における)動作後の結果状態」もともに状語が[+結果性]の意味特徴を具えるが、この状態も(17)(19)(31)(34)に見られるように主に“掌握”(把握する)、“绑”(縛る)、“捆”(縛る)、“盖”(覆う)、のような固定義を具える動作が現れた後に残存する

結果性の状態（具体的には固定度が高い状態を表す）であり、その証拠にこれらの動詞の後ろには動作の完了を表す“了”や状態の持続を表す“着”のような助詞、動作の達成を表す“起来”（ばらばらのものが一つにまとまる意味を表す）や固定を表す“住”（例文(52)参照）といった補語、などが用いられる。但し、(17)(19)のように固定度が高いことを表す二音節形容詞が状語として現れることもあることから、④⑤⑨⑩とは状語の形式面で少し違いがある。とは言え、単音節形容詞の重ね型である“牢牢”“紧紧”“严严”“死死”も多用されるなど、生起頻度から言えばやはり重ね型の方が状語になり易いようである。

(52) 小翠牢牢地抱住树干，拖也拖不开。(新编) ～ ⑦

(小翠は木の幹をしっかりと抱きしめていたので、どんなに引きずられても引き離されなかった。)

(53) 他的手里紧紧地握着一把刀；苍白的脸，漆黑的刀！（CCL） ～ ⑩

(彼の手には刀がきつく握られていた。青白い手に、真っ黒な刀が。)

以下、本稿では⑦⑩も含めたこれら [+結果性] の意味特徴を具える形容詞状語を「結果状語」と呼び、「結果状語+V」を述語（“谓语”）とする文を「結果状語文」と呼ぶことにする。結果状語が用いられる文には構文上の意味特徴が認められ、およそ次に示すような意味構造をとる文が典型である。結果状語をとるこれらの文を、各々が具える構文的意味から、(ア)生産文、(イ)感覚文、(ウ)様態存在文、(エ)固定動作文、(オ)固定存在文、と名付けることにする（NPは名詞句を表す）。

(ア) 生産文

NP（動作者）+結果状語（生産物の様態）+V（生産義）+NP（生産物）

他圆圆地画了一个圈。

## (イ) 感覚文

NP (動作者=経験者) + 結果状語 (受動者に対する感覚上の様態) + V (感覚義) + 補語 (感覚受容など) + NP (受動者=感覚対象)

我真真切切地看到了海市蜃楼。

## (ウ) 様態存在文

NP (場所) + 結果状語 (存在主体の様態) + V (付着・生産義など) + 着 (持続) + NP (存在主体)

桌上厚厚地堆着各种书籍和材料。

## (エ) 固定動作文

NP (動作者) + 結果状語 (固定の状態) + V (固定義) + 補語 (達成など) / 着 (持続) + NP (受動者)

小翠牢牢地抱住树干。

## (オ) 固定存在文

NP (場所) + 結果状語 (固定の状態) + V (固定義) + 着 (持続) + NP (存在主体)

他的手里紧紧地握着一把刀。

結果状語文を構成する述語動詞は上記のように、生産、感覚、付着、固定など様々な意味を表すが、これらに共通する意味特徴は、動作後に結果性の状態が残存するという点である。感覚動詞以外は (ウ) や (オ) のような存在文中に現れ、持続を表す助詞“着”を後置することで特にその意味特徴が際立つ。感覚動詞も既に述べたように、動詞の後に結果補語“到、見”などを付加することにより感覚の受容、すなわち動作後の結果性の状態を表すことになる。

なお、これらの文型を典型として、これらから派生したと思われる文型も存在する。例えば、次の例文のように動詞自体の語彙的意味は [-生産義] でありながら、

生産物を表す目的語名詞との組合せによって、文全体に生産義が具わる文である。

- (54) 有时他给我们做肉粥喝，细细地切上一些肉丝，…… (HSK听力理解)  
(時には彼は私たちに肉入りのお粥を作って食べさせようと、細く肉を切つて、……)
- (55) 嫂嫂并没做过喜字型的，但还是依照多多的要求大大地剪了个喜字，两个连在一起的喜字。(雅虎)  
(ねえさんは(紙)「喜」の字の形に切ったことがなかったが、それでも多多的希望通りに大きく「喜」の字に切り、しかも二つの字がつながった「喜」の字に切った。)

また、動詞自体の語彙的意味は[－感覚義]でありながら、状語が動作を行い始めた後の、事物に対する嗅覚や温覚を表す文も存在する。

- (56) 他……点着一锅旱烟，睡下香喷喷地吸着，…… (新编)  
(彼は……キセルに火をつけ、横になっていいにおいをぶんぷんとさせながら吸い、……)
- (57) 在湖心亭随便找一个地方，就热热乎乎地吃起来。(CCL)  
(湖心亭で自由に場所を見つけて、熱々の(小籠包)を食べ始めた。)

### 3. 結果状語文の構文的意味と事象の個別具体性

結果状語をとる文の構文的意味は更に広義の「出現」(生産文、感覚文)と「存在」(様態存在文、固定存在文、固定動作文)に大別することができる。事物の生産すなわち産出は事物の出現であり、事物に対する視覚・聴覚などの感覚の受容(“看见”〈見える、目に入る〉“听见”〈聞こえる、耳に入る〉など)は目や耳などの感覚器官を通して事物の出現に気づいたことを表していると言える。固定動作文は広い意味では事物(目的語)が固定された状態で存在していることを表

しており、(17) (52) のように主語の動作者名詞が事物の固定先すなわち固定場所になっていると解釈できなくもない。固定存在文 (53) の場所主語を次のように動作者主語に変えることができることからこのことが裏付けられよう。

(53') 他紧紧地握着一把刀；苍白的手，漆黑的刀！

(彼は刀をきつく握っていた。青白い手に、真っ黒な刀が。)

文の表す事象の個別具体性という点から見ると、結果状語文が表わす出現・存在という事象は、特定の時空間において事物が出現・存在する個別具体性のかなり高い出来事である。文の表す事象の個別具体性の高低は、動作の参与者（動作者、受動者など）や、動作の行われる時・場所、そして動作そのものがどれだけ特定の、個別的、具体的であるかを見ればわかる。例えば述語動詞で表された動作の方法を状語が描く次のような形容詞状語文の場合、

(58) a 列宁强调：“马克思主义的最本质的东西、马克思主义的活的灵魂：具体地分析具体的情况。”(CCL)

(レーニンは「マルクス主義の最も本質的なもの、マルクス主義の生きた魂は、具体的状況を具体的に分析することである」と強調している。)

(58) b 1978年，邓小平同志具体地分析了调动农民积极性的途径，指出，最基本的途径有两条：一是尊重农民的自主权。(CCL)

(1978年、鄧小平同志は農民の積極性を引き出す方法を具体的に分析して、最も基本的な方策二つを指摘した。一つは農民の自主権を尊重することである。)

a の“具体地分析”はマルクス主義における具体的状況に対する分析方法を言っており、それはレーニンの頭の中すなわち概念世界の中のものであるのに対

して、bの“具体地分析”は、鄧小平が1978年という特定の時に、個別の事柄について実際に行なった分析の仕方であり、現実世界に起こった出来事であるbの方が個別・具体性の高い事象を表した文ということになる。

これまでに挙げてきた結果状語文の例文を見ても個別具体性の高さがうかがえよう。述語動詞の後にアスペクト助詞の“了、着”や、“見、到、住”などの動作達成後の状態を表す結果補語が義務的に置かれることも、文の描く出現・存在が現実が起こった個別具体性のかなり高い事象であることを物語る<sup>24)</sup>。更に、結果状語文、特に生産文の目的語名詞には基本的に数量詞（多く“(一) + 量詞”または“几 + 量詞”）が付くことも<sup>25)</sup>、出現・存在している事物が実体として現実世界に現れた個別の物であることを物語っており<sup>26)</sup>、文の表す事象の個別具体性の高さを示す傍証となっている。

井上2006は、「事象を個別具体的な出来事として述べるということは、その事象を時間軸の具体的な位置に定位するということ」であるが、「中国語は、文法カテゴリーとしてのテンスを持たず、述語自体に時間の要素が組み込まれていない」ため、「事象を個別具体的な出来事として述べるには、外から個別具体性を付与して、言語表現の具象性を上げて、個別具体的な出来事らしく述べる必要となる」と述べ、中国語では「事象の個別具体性」と「言語表現の具象性」が連動しているとする。例えば、(59)において“吃饭”という言わば「素表現」(a)に、次の(b)から(e)のように数量詞やアスペクト助詞、定語、状語などを付加することにより、事象の個別具体性がより高まっていくということであろう<sup>27)</sup>。

(59)

- |  |                            |
|--|----------------------------|
| (a) 吃饭   | (食事をする)                    |
| (b) 吃 <u>一</u> 顿饭                                  | (ご飯を一食食べる)                 |
| (c) 吃 <u>了</u> <u>一</u> 顿饭                         | (ご飯を一食食べた)                 |
| (d) 吃 <u>了</u> <u>一</u> 顿 <u>爸爸做的</u> 饭            | (お父さんの作ったご飯を一食食べた)         |
| (e) <u>美美地</u> 吃 <u>了</u> <u>一</u> 顿 <u>爸爸做的</u> 饭 | (お父さんの作ったご飯を [一食] たらふく食べた) |

(a) は「食事をする」という概念上の総称・類としての行為を表しており、特定の具体的な食事を指しているわけではないが、下に進むにつれて、個別具体的な動作になる。つまり、個別具体性の高い事象であればあるほど、その言語表現は複雑化するということである<sup>28)</sup>。

出現・存在という個別具体性の高い事象を描く結果状語文の状語に、形容詞の複雑形式である重ね型形容詞が多用されるのも、このことと無関係ではあるまい。次の例文は、いずれも結果状語をとる生産文であるが、単音節形容詞を状語とする (60) (61) と重ね型形容詞を状語とする (62) (63) では、文の表す事象や「形容詞状語＋述語動詞」の表す動作の個別具体性に差が見られる。

(60) 深挖坑，也不用太深，2 米多就行。(CCL)

(穴を深く掘るにしても、あまり深く掘る必要はない。2メートル余りあればいい。)

(61) 种植树木就必须深挖坑，种植树苗不需要很深的坑，但是种植成树就必须挖深坑！（谷歌）

(木を植えるには穴を深く掘る必要があるが、苗木を植えるにはそれほど深い穴は必要ない。しかし、成長した木を植えるのなら、深い穴を掘らなければならない。)

(62) 这位姓刘的干警……，深深地挖了一个坑，将那只木箱埋在了坑里。(CCL)

(この劉という名の警察官は……、穴を深く掘って、その木箱を穴の中に埋めた。)

(63) 妈妈将草莓蒂一一拾了起来，在屋后深深地挖了一个坑，把它们埋在里面。(谷歌)

(お母さんはイチゴのへたを一つひとつ拾い上げると、家の裏に穴を深く掘って、それらを中に埋めた。)

事物の属性を表すことが多い単音節形容詞が状語になることは珍しいが、形容詞

“深”（深い）と動詞“挖”（掘る）を組み合わせた「単音節形容詞＋単音節動詞」の修飾連語“深挖”は普通に見られる。(60) (61) の目的語“坑”（穴）は掘った後に出現する生産物であり、“深”はその様態（この場合は、属性・性質と言った方がむしろ正確）を表すが、現実世界にはまだ穴は現れておらず、“深挖坑”は個別の事象を表現したものではなく、概念世界における事象を表している。もちろん“深挖”が次のように現実世界に現れた個別の事象を表す文に使用された例もないわけではないが、通常は (60) (61) のように非個別の事象に用いられることの方が多い。

(64) 姑娘……，深挖了一个坑，把湿泥团贴着树根埋下。(谷歌)

(娘は……、穴を深く掘って、濡れた泥団子を木の根にくっつけて埋めた。)

一方、重ね型形容詞を状語とした (62) (63) の“深深地挖了一个坑”は、述語動詞がアスペクト助詞の“了”を、目的語名詞が数量詞“一个”を伴っていることからわかるように、現実世界に現れた個別の動作・事物・様態を描いた個別具体的事象であることは言うまでもない。“深深地挖”はこのように個別事象を表す文に用いることが多く、概念世界の非個別事象を表す文に用いると次のように不自然な表現となる。

(65) ??植树要深深地挖坑。

“深”“深深”の対義語である「浅い」という意味の“浅”“浅浅”の場合はどうか。“挖”と同じように結果目的語をとる動詞“刻”（彫る）との組み合わせを見てみると、「単音節形容詞＋単音節動詞」の修飾連語が、多く非個別の類としての動作を表し、「重ね型形容詞＋地＋動詞」が基本的に個別の動作を表すという特性が顕著に反映された事例が見られる。先ず、「単音節形容詞＋単音節動詞」の“浅刻”の用例を挙げる。

- (66) 青田石雕艺术家们最善于运用浅刻、浮雕、圆雕、镂雕等多种手法“点石成金”。(CCL)

(青田石彫の芸術家たちは、浅彫り、浮彫り、丸彫り、透かし彫りなどの様々な技法を用いて、「石を金に変える」ことに非常にたけている。)

- (67) 第二件为竹雕圆型笔筒，正面刻着“华侨书报社”，背面是浅刻一株兰花草。(谷歌)  
(二つめは竹彫の円筒形筆立てで、表には「華僑書報社」の字が彫られ、裏には蘭が一株浅彫りされている。)

- (68) 老艺人冯公侠曾在一粒米粒般大小的象牙上浅刻出孙中山的遗嘱，共计154个字，而轰动海内外。(谷歌)

(熟練の職人である馮公俠氏はかつて米粒大の象牙に孫文の遺言、計154字を浅彫りし、国内外の注目を集めたことがある。)

(66) を見ればわかるように、“浅刻”は単に「浅く彫る」という意味ではなく、通常それは「浅彫り(する)」という彫刻の技法を言う。つまり、“浅刻”は類としての動作、類名を表しているのであって、修飾型の連語から単語(複合語)に変化しているとも言える。従って、個別の事象を表す文に用いられた場合であっても、(67) (68) のように、“浅刻”自体は彫刻における「浅彫り」の技法を用いた類的動作(総称的動作)を表している。一方、“浅浅地刻”は次の例文のように彫刻の技法ではない。

- (69) 鲁比克在这些方块的平面上浅浅地刻了一些凹痕，……(谷歌)

(ルービックはこれらの四角いかたまりの平面にくぼみをいくつか浅く刻み、……)

- (70) 老农弯下腰去，掏出一把银亮亮的小刀子，小心翼翼地在一个瓜上浅浅地刻上一个人的名字，扭头笑咪咪地对那人说：“刻上了你的名字，瓜一长大，你的名字就长大啦。”(谷歌)

(農民は腰をかがめて、銀色に輝く小刀を取り出し、慎重にウリに人の名前

を浅く彫ると、体の向きを変えてにこにこしながらその人に言った。「あんたの名前を彫った。ウリが成長したら、あんたの名前も大きくなるよ。」)

“浅浅地刻”は文字通り「浅く彫る」であり、類としての動作ではなく、個別の動作を表している。どのように彫ったのか、言い換えれば、彫られた物がどのような様なのかを、重ね型形容詞状語によって具体的に描いているのであり、“浅刻”と比較すれば、明らかに個別具体性に富んだ表現として用いられている。動作の類名としての側面を持つ“浅刻”は容易に名詞化されるが、“浅浅地刻”は常に「状語+中心語」の修飾構造をとる動詞句であり、結果状語が描く様態を具える事物名詞を目的語などとして文中に生起させる必要がある。

このように、結果状語文において「重ね型形容詞+動詞」が現実世界における個別・具体的な動作を表し、「性質形容詞+動詞」が多く非個別・類的・総称的な動作を表すという傾向は、性質形容詞が単音節の場合に顕著に見られる。その証拠に、そもそも事物の属性を表す単音節形容詞が状語となって個別の事物の具える結果様態を描くこと自体が稀である(\*圓画了一个圈、\*短做了一件衣服)。本稿の「1.1. 形容詞状語の意味と形容詞の形式」に挙げた劉振平2015, 88のデータを見ればわかるように、単音節形容詞が状語となる例は少ないが、その中でも、事物の属性を表す単音節形容詞が状語となる例は更に少なく、「単音節形容詞+動詞」の多くは、“長住(長く住む)、勤打扫(こまめに掃除する)、粗看(ざっと見る)、细想(仔細に考える)、假笑(作り笑いする)”のような動作の方式・様態を形容詞状語が表しているものである。“浅刻”も“浅”が動作の方式を表していると解釈できなくもなく、そのことにより動詞“刻”を連用修飾できるのかもしれない。

しかしながら、結果状語となる性質形容詞が二音節の場合は、上記の傾向が幾らか薄れる。すなわち、単音節形容詞に比べれば、先の表1の④のように二音節形容詞であっても事物の結果様態を描く状語となるものも幾つかあり、次の(71)(73)のように「二音節形容詞+地+動詞」が、(72)(74)の重ね型形容詞を状語にとる修飾連語同様、個別の動作・状態を表していると判断できる文もある

((71) (72) は生産文、(73) (74) は様態存在文の例)。また、固定文も先の (17) (19) のように二音節形容詞状語が動作後の結果状態を表していた。

(71) (= (15)) 她用毛笔工整地写下两行小字。(新编)

(彼女は毛筆で丁寧に小さな字を二行書いた。)

(72) (= (28)) 我接过签名簿, 在空页上工工整整地写下了“丹尼尔”四个汉字, …… (CCL)

(私は署名簿を受け取ると、空いているページに「丹尼尔」の四つの漢字をきちんと丁寧に書き、……)

(73) 他递过来的精美名片上清楚地印着他摊位的地址、电话 (包括手提电话)、开户银行和帐号, …… (CCL)

(彼が差し出した精緻で美しい名刺にははっきりと彼の売り場の所在地、電話番号 (携帯電話の番号も)、銀行と口座番号が印刷され、……)

(74) 猪腿上清清楚楚地印着“肉检验讫”的标记, …… (CCL)

(豚の足にはとてもはっきりと「食肉検査済み」の印が押されていて、……)

また、重ね型をとらない二音節形容詞が結果状語となって個別の事象を表している例もある ((75) は感覚文の例)。

(75) 他离我很近, 我清晰地听见了他身上的酒气。(谷歌)

(彼は私の近くにいたので、私は彼の身体のお酒のにおいをはっきりと嗅いだ。)

このように二音節形容詞でありながら、結果状語となって個別の事象を表すことのできる形容詞は次の形容詞である (以下は、郑贵友 2000, 85、102、石田 2001が事物目的語を描写対象とする二音節形容詞として挙げているもの。なお、“笔直”はBA型状態形容詞)。

(76) 低级、典型、工整、古怪、规范、晦涩、简单、简短、精彩、均匀、坎坷、空洞、牢固、牢靠、冷清、利落、零乱、凌乱、零散、冒失、美满、渺茫、明白、明亮、明确、明显、模糊、浓郁、蓬松、平坦、平稳、奇怪、清楚、清晰、曲折、弯曲、稀疏、系统、严密、扎实、整齐、笔直

これらの形容詞は互いに類似する語彙的意味をもつものが多く、そのようなものは意味ごとに次のように分類できる。なお、「⇔」は対義語の關係に近いことを表す。(+)内は上記の語以外に筆者が見つけたもの。

(77)

(A) 整然としている：工整、整齐、利落 ⇔ (B) 乱雑である・ばらばらである：零乱、凌乱、零散

(C) まばらである：稀疏 (+零落、零星<sup>29)</sup>) ⇔ (D) 植物などが密生している：蓬松、浓郁

(E) はっきりしている：清楚、清晰、明白、明确、明显、明亮 (音声をはっきりしている) ⇔ (F) ぼんやりしている：模糊、渺茫

(G) 固定度が高い (頑丈・緊密である)：牢固、牢靠、扎实、严密 (+结实)

(H) 簡単である：简单、简短

(I) 地表の形状：平坦、坎坷、曲折、弯曲

朱徳熙 1956にも指摘があるように二音節形容詞は重ね型形容詞を典型とする状態形容詞の性格をも具えており、特に上記の二音節形容詞は性質形容詞と状態形容詞の中間に位置するものと言えるのかもしれない。二音節形容詞内部の意味特徴・文法機能における差異については今後の研究課題としたい。

上記のような二音節形容詞状語の例は存在するものの、それでもやはり二音節形容詞と重ね型形容詞を比べた場合、個別事象を表す文の結果状語に重ね型形容詞が多用される傾向があることは確かである。

#### 4. 重ね型結果状語による事物目的語の出現・存在の強調

事物の恒常的属性を表す単音節性質形容詞（A）が「AV」の連用修飾構造をとり難いにもかかわらず、単音節形容詞を重ね型にして状語に用いた「AA地V」構造が成立する理由については、既に述べたように、単音節形容詞は主として総称的な事物（名詞）に対する分類機能を具え、一方その重ね型は個別具体的な事物（名詞）・動作（動詞）・状態（動詞、動補連語などの動詞句）に対する描写機能を具えるからというものであった。本稿ではこの他に、広義の出現文である生産文と、広義の存在文である様態存在文において、目的語として具現化する事物（生産物、存在主体）を目立たせ、且つ事物が出現したり存在したりする過程を強調して描くために、状語に事物の様態を表す重ね型形容詞（二音節形容詞の重ね型AABBなども含む）を用いるという仮説を立てたい。

古川 1997は出現や消失を表す現象文において、「現れるモノ」「消えるモノ」を目立たせるために、モノ（事物）を表す目的語名詞が数量詞による修飾限定を義務的に受けると述べ、「外界認知における〈顕著性〉salienceが言語表現上の〈有標性〉markingを動機づける」という認知言語学的な想定のもと、現象文における目的語名詞の数量詞限定に関して、「中国語は外界認知で〈目立つモノ〉を言語化するとき、その名詞に数量詞という標識markを付け加えて〈目立つカタチ〉で表現する」という仮説を立て、その妥当性を実証している。

「無」に生じた「有」、 「有」に生じた「無」という事象変化において認知上、目立つ存在となる事物を強調して表すために、言語表現上、目的語名詞に数量詞を付け有標形式にして目立たせるという古川 1997の説に従うならば、本稿でこれまで述べてきた広義の出現や存在を表す結果状語文に有標形式であるAAをはじめとする重ね型形容詞状語が多用される理由（動機）も自ずと導かれよう。

既に「0. はじめに」で述べたように、鄭貴友 2000, 84-85, 102では、本稿の生産文、様態存在文といった結果状語文に相当する形容詞状語文が成立するための条件として、状語に“夸说性”（誇張性）が必要であることが指摘されているが、なぜ誇張する必要があるのかについては述べられていない。出現した事

物、存在している事物の様態を重ね型形容詞によって誇張・強調して表現することは、当然ながら、出現・存在の主体である事物（目的語名詞）をその特徴とともにはっきりと際立たせる効果がある。例えば、次の a の結果状語を伴わない生産文・様態存在文では、単に動作者が事物を生産したり、場所に事物が存在したりすることを述べているにすぎないが、b のように結果状語を加えると、波線部の事物（生産物・存在主体）の輪郭がくっきりと浮かび上がってくる。

(78) a 他画了一个圈。

(彼は円を一つ描いた。)

(78) b (= (47) = (3)) 他圆圆地画了一个圈。(用法)

(彼は円を一つまあるく描いた。)

(79) a 他说着，又给李霜泗斟上一杯酒。

(彼は話しながら、また李霜泗に酒を一杯注いだ。)

(79) b 他说着，又满满地给李霜泗斟上一杯酒。(重疊)

(彼は話しながら、また李霜泗に酒を一杯なみなみと注いだ。)

(80) a 他拿出一张纸，在上面写了一些字。

(彼は紙を一枚取り出し、紙の上に字を少し書いた。)

(80) b 他拿出一张纸，在上面端端正正地写了一些字。(谷歌)

(彼は紙を一枚取り出し、紙の上にきちんと正しく 字を少し書いた。)

(81) a 树上挂着几个苹果。

(木にリンゴが数個ぶら下がっている。)

(81) b 树上红红地挂着几个苹果。(卢建 2003 b)

(木にリンゴが数個赤々とぶら下がっている。)

(82) a 脸上长着些青春痘。

(顔にニキビがいくつかできている。)

(82) b 脸上疙疙瘩瘩地长着些青春痘。(CCL)

(顔にニキビがいくつかぶつぶつとできている。)

(83) a 路边立着几座架线铁塔。

(道端に送電铁塔がいくつか立っている。)

(83) b (= (1) c) 路边高高大大地立着几座架线铁塔。(郑贵友 2000)

(道端に送電铁塔がいくつか高々とでっかく立っている。)

これは言うまでもなく、結果状語が事物の様態を描写的に表現しているからであり、次のような動作の様態や動作者の心理状態を描く状語では、(78) a・(79) aのような状語を伴わない文同様、事物の輪郭がさほど目立たない。言い換えれば、事物の個別具体性が相対的に低いということになる。

(84) 他慢慢地画了一个圈。

(彼は円を一つゆっくりと描いた。)

(85) 他说着，又高高兴兴地给李霜斟上一杯酒。

(彼は話しながら、また李霜酒に一杯うれしそうに注いだ。)

また、感覚文についても、結果状語を伴うことで感覚対象である事物に対する感覚受容、すなわち事物の出現に対する気付きが強調され、事物の個別具体性が高まると言える。

(86) a 张老汉一个一个推了一遍，连动也不动，又用手摸胸口时都是冰凉，摸下两手血，知道是都炸死了。

(張老人は一人ひとり押したが少しも動きはせず、また手でみぞおちを触っ

てみると冷たく、血が両手に触れ、皆爆死していることがわかった。）

(86)b (= (29)) 张老汉一个一个推了一遍，连动也不动，又用手摸胸口时都是冰凉，粘糊糊摸下两手血，知道是都炸死了。(重疊)

(張老人は一人ひとり押したが少しも動きはせず、また手でみぞおちを触ってみると冷たく、ねっとりと 血が両手に触れ、皆爆死していることがわかった。)

ところで、先に述べたように、(83) bの“高高大大”の原型である“高大”を状語にした文は成立しない。

(87) (= (1) a) \*路边高大地立着几座架线铁塔。(郑贵友 2000)

それは、“高大”(高くて大きい)が目的語名詞の“架线铁塔”(送電铁塔)に具わる不変の属性を表しているためであり、次のような事物の属性を表す単音節形容詞が状語に置けないのと基本的に同じ理由である。

(88) \*他圆画了一个圈。

(89) \*树上红挂着几个苹果。

しかしながら、これらの形容詞を重ね型にすることにより、形容詞の表す意味が類・総称としての事物が具える恒久不変の属性から、個体としての眼前の事物が具える様態に変化し、個別具体的事物の出現や存在を生き生きと彩り豊かに描くことが可能になる。

別の角度から言えば、総称的な事物の属性を表す性質形容詞では、事物(目的語名詞)と属性(状語形容詞)の関係が当たり前すぎて(円—丸い、リンゴ—赤い、铁塔—高くて大きい)、出現・存在する事物を引き立てるには力不足である(円を丸く描く、リンゴが赤くぶら下がっている、铁塔が高く大きく立っている)が、重ね型形容詞の場合、量性と話者の主観・感情がこもり(円—まあいい、リ

ンゴー赤々としている、鉄塔—高々としてでっかい)、事物の出現・存在を際立たせるに十分な力を発揮でき(円をまあるく描く、リングが赤々とぶら下がっている、鉄塔が高々とでっかく立っている)、情報価値の高い表現に仕上がるというわけである。このことから、重ね型結果状語には事物目的語を目立たせる表現機能が具わっていることがわかる。

もちろん、生産文、様態存在文、感覚文の事物目的語を目立たせるには、次のように重ね型形容詞によって事物名詞を連体修飾するという表現の仕方もある。

(78) c 他画了一个圆圆的圈。

(彼はまあるい円を一つ描いた。)

(81) c 树上挂着几个红红的苹果。

(木に真っ赤なリングが数個ぶら下がっている。)

(83) c 路边立着几座高高大大的架线铁塔。

(道端に高々としてでっかい送電鉄塔がいくつか立っている。)

(86) c 张老汉一个一个推了一遍，连动也不动，又用手摸胸口时都是冰凉，摸下两手粘糊糊的血，知道是都炸死了。

(張老人は一人ひとり押したが少しも動きはせず、また手でみぞおちを触てみると冷たく、ねっとりとした血が両手に触れ、皆爆死していることがわかった。)

しかし、上記のc文は先のb文に比べ、文の具える出現・存在という構文的意味を重ね型形容詞が強調する表現機能に乏しいように思われる。つまり、c文の重ね型形容詞は意味上、事物名詞のみに作用して事物の具える様態を強調してはいるが、事物が重ね型形容詞の表す様態を伴いながら出現・存在する過程を強調して描いているとは言い難い。述語動詞との関わりが希薄なのである。

张国宪2006, 308-314は、b文(事物の様態を表す重ね型形容詞状語文)とc文(事物の様態を表す重ね型形容詞定語文)の違いを、①事物に現れる様態・性

質が一時的なものか恒常的なものか、②事物の様態の出現が意志的にもたらされたものか否か、③話し手の主観性が認められる文か否か、の特徴から明らかにしている。また、「0. はじめに」でも触れたように、卢建 2003a、李劲荣 2007は本稿の生産文に当たる重ね型結果状語文の意味特徴として、事物に具わっていく様態の“漸成性”（漸次性）を挙げ、c文はその特徴を有しないと述べる。以下、张国宪 2006、卢建 2003a、李劲荣 2007が述べているところを表に整理すると次のようになる（例文は张国宪 2006、卢建 2003a、李劲荣 2007より）。

表3 事物の様態を表す重ね型形容詞状語文と定語文の相違

重ね型形容詞状語文 (AA/AABB地V)	重ね型形容詞定語文 (AA/AABB的N)
一時的な様態（動作の結果もたらされる様態） (例) 桌子上 <u>厚厚地</u> 放着几本书。 (机の上に数冊の本が <u>高々と置か</u> れている。)	恒常的な属性（事物固有の性質） (例) 桌子上放着几本 <u>厚厚的</u> 书。 (机の上に数冊の <u>分厚い</u> 本が置かれている。)
意志的な様態出現 (例) 孩子在沙滩上 <u>深深地</u> 挖了一个洞。 (子どもが砂浜で <u>深く掘</u> った。)	意志的／非意志的な様態（性質）出現 (例) 孩子在沙滩上挖了一个 <u>深深的</u> 洞。 (子どもが砂浜で <u>深い</u> 穴を掘った。)
主観的表現 (例) 主人 <u>浓浓地</u> 沏了一杯咖啡。 (主人が <u>濃いめ</u> のコーヒーを入れた。) (例) 嘴里 <u>白厉厉地</u> 排着牙齿。 <sup>30)</sup> (口の中に歯が <u>青白く生えそ</u> ろっている。)	客観的表現 (例) 主人沏了一杯 <u>浓浓的</u> 咖啡。 (主人が <u>濃いめ</u> のコーヒーを入れた。) (例) 嘴里排着 <u>白厉厉的</u> 牙齿。 (口の中に <u>白い</u> 歯が生えそろっている。)
漸次的な様態出現 (例) 妈妈 <u>稠稠地</u> 熬了锅粥。 (お母さんがお粥を <u>とろとろに煮</u> た。)	—— (例) 妈妈熬了锅 <u>稠稠的</u> 粥。 (お母さんが <u>とろとろ</u> のお粥を煮た。)

上記の表からb文のような重ね型結果状語文は典型的には、動作者（但し、様態存在文には現れない）が意識的に事物に対して動作を加え、その動作の過程において徐々に現れてくる量・程度を伴う様態を成立させる事象、あるいは様態成立後にその量的な様態を保ったままで持続している事象、を話し手が主観的に感情を込めて表現した文であると言える。

b文はc文に比べて、事物目的語が「AA/AABB」で表される様態を伴って出現・存在する過程が明らかに読み取りやすい。例えば、同じ生産文でもb文の“主人浓浓地沏了一杯咖啡。”にはコーヒーを入れ始めてから入れ終わるまでの時間的幅すなわち過程が読み取れるのに対し、c文の“主人沏了一杯浓浓的咖啡。”はコーヒーを入れ終わった時点（あるいは後）の事象を客観的に述べているにすぎない。

様態存在文の場合は、持続相を表す助詞の“着”があるため、c文の“桌子上放着几本厚厚的书。”にも時間的幅は読み取れるのであるが、それはあくまでも分厚い本を置いた後の状態の持続であり、事物そのものの存在の持続に重点がある。定語の“厚厚的”は事物（本）固有の不変の属性であって、動作（置く）から結果状態（置いてある）に至る過程において事物に生じた様態変化ではない。一方、b文の“桌子上厚厚地放着几本书。”には動作者名詞が生起する生産文ほどではないが、本を置き始めてから高く積み終わるまでの過程（様態変化）も幾らか含意されていると言えるし、また事物が形容詞状語の表す可変の様態を伴ったままで存在している状況（事物そのものの存在と様態の存在が同時に持続している状況）を話し手が事象全体を見渡すような視線の動きで描いているとも言える。b文は存在に至る過程あるいは存在している過程が読み取れる分、「動き」のようなものが感じられる表現であるのに対し、c文は動きのない静止状態を描いている。生産文にも同様のことが言えよう。例えばb文の“孩子在沙滩上深深地挖了一个洞。”には動作者の動きが読み取れるが、c文の“孩子在沙滩上挖了一个深深的洞。”では既に動きが止まってしまっている。

b文の形式をとる様態存在文である(83)bの“路边高高大大地立着几座架线铁塔。”は動作者による他動性が認められないが、それでも铁塔を下から見上げていくような、言い換えればあたかも铁塔が空に向かって高く伸びていくような時間的幅を伴う動きが感じられ、話し手がそのような事象全体を眺めるような視線の動きで驚きや興奮といった感情を込めてレポートしている感じがうかがえる。同じく、様態存在文の(81)b“树上红红地挂着几个苹果。”はリングが真っ赤に色づいてぶら下がっている状況を、今まさにリングが真っ赤に色づきながら

ぶら下がっているかのように話し手が、動き・過程を意識しながら表現している  
のであり、「存在」を「動き」として捉えているとも言える。これに対し、(81)  
c “树上挂着几个红红的苹果。”は「木にリンゴが数個ぶら下がっている」とい  
う事実と「それらのリンゴは真っ赤だ」という事実を組み合わせ、話し手の主  
観を込めずに客観的に述べているにすぎない。

このように、生産文・様態存在文における重ね型結果状語は、事物（生産物・  
存在主体）に生じる動作後の様態を表すことにより、目的語名詞の表す事物を目  
立たせるだけでなく、事物が出現したり存在したりする過程を強調して描く働き  
を具えているのであり、重ね型結果状語文は、「何がどのように出現・存在して  
いるか」（「何が」よりも、むしろ「どのように」の方に意味の重点がある）を話  
し手が主観を込めて「動的」に描いた文なのである。

## 5. おわりに

最後に重ね型形容詞状語文に関連する今後の研究課題について触れておきたい。  
一つ目は、「3. 結果状語文の構文的意味と事象の個別具体性」で出てきた  
原形のままで結果状語となる“整齐、清楚、牢固、简单、弯曲”のような事物の様  
態を表す二音節形容詞の意味特徴や文法機能についてであり、これらは二音節性  
質形容詞の中でも状態形容詞に性格が近いと思われるが、逆に性質形容詞の特徴  
を色濃く持ち、事物の属性を表す“轻便、简陋”などの二音節形容詞とも比較しな  
がら、広く二音節性質形容詞内部における意味・文法的差異の問題として、結果  
状語となり事物の様態を表すこの種の二音節形容詞を分析・考察してみたい。

二つ目に、結果状語文以外の文に現れる形容詞状語についても、重ね型形容詞  
と事象の個別具体性との関係において結果状語と同様の傾向が見られるのかどう  
か、調べてみたい。例えば、動作の方式・様態を表す形容詞状語は、表1に示し  
たように重ね型も、またその原型も生起可能であるが、先の例文(16)の“平安”  
と(30)の“平平安安”のように、個別具体性の高い事象を表す文の状語に重ね  
型同様、原型も使用されている例がある。しかし、このことを以て、動作の方式・

様態を表す形容詞状語文には、重ね型形容詞と個別具体性との関係性がないと断言できるのであろうか。反対に個別具体性の低い事象や概念世界における類的动作（例えば、“亲密合作”（亲密に協力する）、“草率从事”（いい加減に片付ける）のような固定化した「形容詞状語＋述語動詞」の修飾連語）に重ね型形容詞を使用して表現することは可能なのであろうか（次の例文参照<sup>31)</sup>）。引き続き、動作・事象の個別具体性と文法形式の問題について考えていきたい。

(90) 亲密（→ \* 亲亲密密地）合作才能成功。

（亲密に協力して初めて成功する。）

(91) 在处理问题时，我们不能草率（→ \* 草草率率地）从事。

（問題を処理する際、我々はいい加減に行なってはいけない。）

## 【注】

1) 性質形容詞はその典型とも言える単音節のもの（“快、圆”など）と、二音節のもの（“缓慢、清楚”など）とに分けられ、二音節のものについては、朱德熙 1956にも指摘があるように重ね型形容詞を典型とする状態形容詞の性格も具えており、性質形容詞と状態形容詞の中間に位置するものと言えなくもない。そして、こうした特徴を考慮に入れ、张国宪 2006, 19-23のように、厳格な分類基準に基づいて性質形容詞の範囲を基本的に単音節形容詞に限定するなど狭く捉える研究者もいる。本稿では、性質形容詞と状態形容詞の間の連続性を踏まえながらも、議論の便宜上、二音節の形容詞のうち、状態形容詞の一種である“冰凉、血红”のような「比喻型形容詞」（守屋1995, 42参照）とも呼ばれるBA型（語構成が修飾型（偏正型とも）であり形態素Aが中心的意味を担う）形容詞を除いた二音節形容詞を、単音節形容詞とともに性質形容詞に分類し、性質形容詞の範囲を広めにとった。

2) 重ね型形容詞は、朱德熙 1956によれば、「程度副詞＋性質形容詞」の形容詞句（“很快、非常缓慢”など）とともに状態形容詞に分類される。本稿で考察対象とする重ね型形容詞は、①単音節性質形容詞を重ね型にしたAA型（“圆圆”など）、②二音節性質形容詞の重ね型AABB型（“清清楚楚”など）の他に、次の③～⑥の複雑形式をとるものも含む。

- ① AA型：圓圓、紅紅など
- ② AABB型：清清楚楚、紅紅潤潤など
- ③ BABA型：冰涼冰涼、血紅血紅など
- ④ ABB型：胖乎乎、紅通通など
- ⑤ AXYZ型：黑咕隆咚、紅不稜登など
- ⑥ A里AB型：糊里糊涂、古里古怪など

③は、“冰涼、血紅”のようなBA型の比喻型形容詞（二音節状態形容詞）を重ね型にしたもので、二音節性質形容詞（AB型）の重ね型（AABB型）とは形式が異なる。④⑤は接尾成分を伴うものであるが、朱徳熙 1956によれば二音節形容詞で接尾成分を伴うものは“可怜巴巴、老实巴焦”など少数とのことである。

なお、重ね型となる二音節形容詞については、大河内 1969（1997、23の注釈11）に次のような記述がある。「形容詞が重疊するのは二音節の場合、語構成が連合式のものに限られる。動賓式、偏正式、主謂式（有效、筆直、性急など）は一般に重疊せず、また重疊してもXXXX型となる（血紅血紅）。さらに連合式であっても形状、状態を示す比擬性の形容詞が一般的で、性質など、外見しがたく、直感しがたいものは重疊しない（勇敢、新鮮、朴实など。」

- 3) その傾向は話し言葉において顕著であり、書き言葉で助詞の“地”を伴うことにより比較的自由に状語位置に現れるとされる二音節性質形容詞であっても、朱徳熙1956（1980,24）では“就口语说，绝大部分的双音形容词也是不能作状语的。”（話し言葉について言えば、ほとんど大部分の二音節形容詞も状語になることができない）と述べ、また刘月华・潘文娛・故韡 2001、198でも“双音节形容词在口语里很少单独作状语，多采用重叠形式。”（二音節形容詞は話し言葉では単独で状語になることはほとんどなく、多く重ね型形式が用いられる）とある。
- 4) \*は文法的に不適格であることを、??は不自然、?はやや不自然であることを示す。例文の後の（ ）内は出典を表す。便宜上、文中の語句を省略して引用した例文もある。
- 5) 本稿では状語となる重ね型形容詞の日本語訳を、重ね型をとる前の原型すなわち性質形容詞との違いを際立たせるために、程度を強調した訳し方にしてあるが、日本語として自然さに欠けると判断した場合には、強調せずに性質形容詞と同じように訳してある。
- 6) 次のような主語名詞が担う参加者の呈する結果性の様態を状語が描く結果状語文もあるが、

本稿では議論の便宜上、考察対象から外した。

雪厚厚地堆在白桦树、落叶松、马尾松上面，……。 (谷歌)

(雪は白樺の木や、カラマツ、アカマツの上に厚く積り、……)

この種の結果状語文は例文(5)のような結果状語文と、用いられる述語動詞が共通し(それぞれ「V在」「V着」の形式をとる)、双方の主語名詞と目的語名詞を反転させた形の鏡像関係にある。

- 7) 卢建 2003bでは“妈妈稠稠地熬了锅粥。”のような(3)に類する文を“摹物状语句”の典型とし、(5)のような文はそこから派生した文と見て、これら構文間の派生のメカニズムについて述べている。
- 8) 齐沪扬・王爱红 2001では“偏正短语”(修飾連語)のように記しているが、実質的には“很深、非常聪明”のような「程度副詞+形容詞」の形容詞句を指している。
- 9) 齐沪扬・王爱红 2001では、“雪白、笔直”類状態形容詞のように記しているが、本稿では便宜上BA型状態形容詞と言い換えた。
- 10) 但し“的”を介しない「単音節形容詞+名詞」の結びつきには類名として人々の間で通用しているかどうかなどの制限がある。なお用例の“圆领儿”(丸い襟→丸首、“尖领儿”(とがった襟→Vネック)は連語内部の固定化が進み、“圆桌”(円卓)、“方桌”(角テーブル)のように連語ではなく単語と捉えられることもある。
- 11) 原 1988・1989、石田 2000・2001、郑贵友 2000、刘振平 2015、拙稿 2011・2014参照。表中の「形容詞状語の描写対象」「形容詞状語の表す意味」の欄は、拙稿 2011・2014を参照して作成しているが、一部表記を変えてある。例えば、表1の形容詞状語の描写対象欄の「受動者(生産物も含む)」は拙稿 2011では「受動者(結果も含む)」としていた。
- 12) 刘振平 2015, 105によれば、状語になることのできる二音節の“述物形容词”、すなわち本稿の動作者描写、受動者描写の状語として現れる二音節形容詞のうち、86.6%が“描述动作行为主体”つまり、表中の①②③のような動作者描写のものであるという。
- 13) 原 1988、石田 2000では、②③の意味で重ね型形容詞が使われることはなく、その場合、重ね型形容詞は「動作の様態」すなわち表中の⑥の意味で用いられているとする。本稿では重ね型をとっても二音節の原型同様、依然として②③の意味を表すという立場をとった。

- 14) 郑贵友 2000, 85-86によれば、状語が④の意味で用いられる製作（生産）義を表す形容詞状語文（“制作类句子”）に使用される二音節形容詞は26個（うち1個はBA型状態形容詞の“笔直”）に対して、重ね型形容詞は183個であり、④の二音節形容詞は全体の約12.4%にすぎない。よって表中の△は、×に近い△と言える。
- 15) 郑贵友 2000, 151-153によれば、状語が⑤の意味で用いられる感觉・知觉義を表す形容詞状語文（“感知类句子”）に使用される二音節形容詞は極めて少数であり、視覚などの明瞭度を表す“清楚、清晰、模糊”くらいである。
- 16) 郑贵友 2000が述べる、(a) 目的語を描写対象とする形容詞状語文の一つである“呈现”類に現れる状語の一部、(b) 主語と目的語の両方を描写対象とする形容詞状語文の一つである“后因”式と呼ばれる文の状語の一部、が本稿でいう「V着」存在文における⑨の意味を表す状語に属すると考えられるが、郑贵友 2000, 101-104によれば、(a) は通常、重ね型形容詞が使用されるとして、205個の重ね型形容詞が例として挙げられているのに対し、二音節形容詞（BA型状態形容詞の“笔直”含む）は“均匀、零乱、凌乱、零散、明显、模糊、浓郁、蓬松、平稳、清楚、清晰、稀疏、整齐、笔直”の14個（全体の約6.4%）である。また、(b) については郑贵友 2000, 182によると、単純形式の形容詞（性質形容詞）が使用されている例文は見つからなかったとのことである。
- 17) “蹦跳”を動詞とする辞書もあるが、その重ね型は二音節形容詞と同じAABB型である。
- 18) ①⑧に重ね型形容詞が生起し難いことは原 1988 (2002, 110-113) に既に指摘がある。
- 19) 石田 2000は「AB式と比較した場合AABB式の方が描写の対象となる時間が長い」と述べる。
- 20) 感情を表す二音節形容詞状語が動作者の心理変化を表す場合の意味的・文法的条件については原 1988、石田 2000、赵春利・石定栩 2011参照。なお、赵春利・石定栩 2011には、感情形容詞が状語となって動作者の心理状態、事象に対する話者の心的態度を表す際の意味的・文法的条件についても述べられている。
- 21) 卢福波 2004, 244-245によれば、動作者を描写対象とする形容詞状語文の動作（述語動詞）には「持続性」が要求されるとの指摘がある。
- 22) どのような二音節形容詞が重ね型になるかについては、先の注2の大河内1969の他に、奥水 1985, 191が次のように述べている。「二音節形容詞は一音節形容詞にくらべ、重ね形をつくれ

ないものが多い。これは日常よく用いられる口語語彙ほど、重ね形をつくりやすいことにもよる。なお、原形と重ね形の性格の差を考えるとわかるように、意味からして、事物の性質だけを表すものは、状態を表し得るものにくらべ、重ね形をつくりにくい。二音節の例として“伟大”（偉大である）“美丽”（美しい）“勇敢”（勇敢である）“强烈”（はげしい）などがある。また、語構成からして、主述型や動賓型は並列型にくらべ、重ね形をつくりにくい。“年轻”（若い）“性急”（せっかちである）は前者、“出色”（ひときわすぐれている）は後者の例である。」

なお、张寿康・审订《新编现代汉语多功能词典》当代中国出版社（1995）によれば、例文の“意外”（意外である）は修飾型、“遗憾”（残念である）は動目型、“可耻”（恥ずべきである），“可怜”（あわれである）は「接頭辞＋語幹」型であり、重ね型の用法はいずれにも見当たらない。但し動詞としての“可怜”（あわれむ）は“可怜可怜”のようにABAB型の重ね型になる。

23) 郑贵友 2000, 118参照。

24) 卢福波 2004, 248によれば、目的語の表す人や物を描写対象とする形容詞状語文（すなわち本稿の結果状語文に相当）は一般に、過去時や進行時（原文は“进行时”であるが、テンス上の「現在時」の意味で用いているものと思われる）を表し、未来時は表さないとの指摘がある。

25) 李劲荣 2007参照。なお同 2007では、“指宾状语句”には“一”“几”以外の数詞で目的語を限定することはできないとし、次のように数詞の表す数が大きくなればなるほど文の容認度が低くなると述べる。

? 浅浅的挖了三个坑（穴を三つ浅く掘った） \* 圆圆的画了三十个圈（円を三十個まあるく描いた）

26) 大河内 1985が量詞の具える、名詞に対する個別化機能について述べている。

27) 付加成分と個別具体性の関係に関しては、井上 2006・2012、大河内 1985の他に、橋本 2014が量詞には名詞の表す事物のみならず、動詞句の表す動作行為をも個別化する働きがあることについて述べている。

28) 言語表現の複雑化と事象の個別具体化に関しては、朱文文 2014が「形容詞状語＋述語動詞」の連用修飾構造の複雑化とそれが表わす事象の具体化についてデータを挙げて述べている。最も具体性の高い構造は、形容詞の重ね型や並列形式（例えば“又快又出色”）を状語として、述語動詞（V）が目的語と補語の両方をとる「複雑状語＋V＋目的語・補語」の構造（「形容詞

状語＋述語動詞」構造全体の2.3%を占める)であり、次にVが目的語か補語のいずれかをとる「複雑状語＋V＋目的語／補語」(7.1%)、そして「複雑状語＋V」(10.4%)などと続く。最も具体性の低い構造は単音節形容詞、二音節形容詞、「程度副詞＋形容詞」を状語とする単純状語(「简单状語」と述語動詞のみの組み合わせの「単純状語＋V」(34.3%)である。なお、( )内の数値は形容詞状語の描写対象・意味の違いによって個別に出されたものではないため、この数値を以って結果状語が重ね型形容詞をとる割合が二音節形容詞よりも低いとは言えない。

29) “零落”“零星”もまた次の例文のように、結果状語となって個別の事象を描く。

大草原上，零落地散布着几个居民点，有时走几十里也不见人烟。(中学生)

(大草原には幾つかの居住区が点在しており(←まばらにあり)、数十里歩いても人家が見当たらない時もある。)

像毡子似的草原上到处零星地散布着鲜艳的各色野花。(多功能)

(毛氈のような草原の至る所に鮮やかな色の様々な野の花が散在している(←まばらにある。))

30) 例文は张国宪 2006が魯迅の小説《狂人日記》にある下記の一文を参考に様態存在文の文型に合わせて作成したもの(下記の文の訳は竹内好・訳『阿Q正伝・狂人日記 他十二篇』岩波文庫より)。

他们的牙齿，全是白厉厉的排着，这就是吃人的家伙。

(やつらの歯はみんな白くてびかびかだ。あれは人間を食う道具だ。)

张国宪 2006, 313-314によれば“白厉厉”(歯が白く生えそろっているさま)を定語ではなく状語として使用することにより、事象に対する話し手の主観(ここでは無気味で恐ろしい気持ち)が強調されるのだという。なお、定語に使った文は客観的なレポートであると述べる。

また卢建 2003bは次の“摹物状语句”にはそれぞれ、(a)「嫌恶」(“厌恶”)、(b)「愛情」(“钟情”)と言った話し手が対象(目的語名詞)に抱く感情が反映されているとして、本稿で言うところの様態存在文の形式をとる結果状語文の状語は、話し手が主観的な感情を表出するための理想的な構造であると述べている。

(a) 山脚下乱蓬蓬地长着一片茅竹。

(山のふもとには一面に孟宗竹がぼうぼうと生えている。)

(b) 山脚下清清翠翠地长着一片茅竹。

(山のふもとには一面に孟宗竹が青々と生えている。)

- 31) インフォーマントによれば、(90) (91) とともに状語の形容詞を重ね型にすると「言えない」とのことだが、そもそも“亲亲密密”“草草率率”という言い方自体が多用されないのではないかとの指摘があった。非文の理由はこれらの形容詞そのものの形態に由来するものなのか、それとも動作・事象の個別具体性の高低に由来するものなのか、今後の研究課題としたい。

### 【参考文献】

- 石田友美 (2000) 「状語としての中国語二音節形容詞について」, 『中国言語文化論叢』第3集: 70-89頁。東京外国語大学中国言語文化研究会。
- 石田友美 (2001) 「M3状語としての二音節形容詞に関する一考察」, 『中国言語文化論叢』第4集: 47-70頁。東京外国語大学中国言語文化研究会。
- 井上優 (2006) 「日本語から見た中国語」, 『日本語学』第25巻第3号: 26-33頁。東京: 明治書院 (2006. 3)。
- 井上優 (2012) 「テンスの有無と事象の叙述様式—日本語と中国語の対照—」, 影山太郎・沈力・編『日中理論言語学の新展望 2 意味と構文』: 1-26頁。東京: くろしお出版 (2012. 4)。
- 大河内康憲 (1969) 「重畳形式と比況性連合構造」, 『大阪外国語大学学報』21号。(本稿は、大河内康憲・著『中国語の諸相』: 3-26頁。東京: 白帝社 (1997. 3)。に拠る)
- 大河内康憲 (1985) 「量詞の個体化機能」, 『中国語学』第232号。日本中国語学会。(本稿は、大河内康憲・著『中国語の諸相』: 53-74頁。東京: 白帝社 (1997. 3)。に拠る)
- 小野秀樹 (2008) 『統辞論における中国語名詞句の意味と機能』。東京: 白帝社 (2008. 10)。
- 黄春玉 (2004) 「結果の意味を表す形容詞状語と動詞句との共起」, 『中国語学』第251号: 156-170頁。日本中国語学会。
- 黄春玉 (2005) 「結果の意味を表す形容詞状語と意図性—日中対照の立場で—」, 『日中言語対照研究論集』第7号: 164-176頁。日中対照言語学会。
- 黄春玉 (2011) 《关于结果补语的中日比较研究—結果補語表現に関する中日対照研究—》。上海: 上海译文出版社 (2015. 3)。
- 奥水優 (1985) 『中国語の語法の話』。東京: 光生館 (1985. 3)。

- 趙宏剛 (2012) 「[NP1+A+V了/着+NP2]形式の成立条件について—制作動詞の意味特徴の観点から—」, 『ことばの科学』第25号: 37-46頁。名古屋大学言語文化研究会。
- 趙宏剛 (2013) 「“NP1+A+V+NP2”形式における数量詞の文法機能について」, 『ことばの科学』第26号: 111-120頁。名古屋大学言語文化研究会。
- 野田耕司 (2006) 「中国語単音節形容詞の連用修飾用法について」, 『熊本学園大学 文学・言語学論集』第26号: 55-84頁。
- 野田耕司 (2011) 「中国語の形容詞状語の表す意味について—動作文の場合」, 『熊本学園大学 文学・言語学論集』第36号: 23-62頁。
- 野田耕司 (2014) 「[V着]存在文の分類と形容詞状語の意味について」, 『熊本学園大学 文学・言語学論集』第41号: 1-40頁。
- 橋本永貢子 (2014) 『中国語量詞の機能と意味—文法化の観点から—』。東京: 白帝社 (2014. 1)。
- 原由起子 (1988) 「“高兴”と“高高兴兴”」, 『中国語』2月号, 大修館書店。(本稿は、原由起子・著『中国語における修飾の諸相』: 105-116頁。東京: 東方書店 (2002. 2)。に拠る)
- 原由起子 (1989) 「程度補語“很”と状語の関係について」, 『姫路獨協大学外国語学部紀要』第2号。(本稿は、原由起子・著『中国語における修飾の諸相』: 117-134頁。東京: 東方書店 (2002.2)。に拠る)
- 古川裕 (1997) 「数量詞限定名詞句の認知文法—指示物の〈顕著性〉と名詞句の〈有標性〉」, 『大河内康憲教授退官記念 中国語学論文集』: 237-266頁。東京: 東方書店 (1997. 3)。
- 守屋宏則 (1995) 『やさしくくわしい中国語文法の基礎』。東京: 東方書店 (1995. 3)。
- 李劲荣 (2007) 〈指宾状语句的功能透视〉, 《中国语文》第4期: 331-342頁。
- 刘月华 (1983) 〈状語の分類と多項状語の順序〉, 《语法研究和探索 (1)》, 北京: 北京大学出版社。(本稿は、刘月华・著《汉语语法论集》: 93-121頁。北京: 现代出版社 (1989. 7)。に拠る)
- 刘月华・潘文娛・故韞 (2001) 《实用现代汉语语法 增订本》。北京: 商务印书馆 (2001.5)。
- 刘振平 (2015) 《形容词做状語和补語的认知语义研究》。北京: 商务印书馆 (2015. 3)。
- 卢福波 (2004) 〈形容詞状語语义指向及其語用特点探析〉, 卢福波・著《对外汉语教学语法研究》: 237-248頁。北京: 北京语言大学出版社 (2004. 2)。

- 卢建 (2003 a) 〈可换位摹物状语的句位实现及功能分析〉,《语言研究》第 1 期: 99-106页。
- 卢建 (2003 b) 〈摹物状语的引申及主观化渠道〉,『中国語学』第250号: 68-84頁。日本中国語学会。
- 齐沪扬・王爱红 (2001) 〈形容词性短语与形容词的功能比较〉,《汉语学习》第 2 期: 1-9页。
- 沈家煊 (1995) 〈“有界”与“无界”〉,《中国语文》第 5 期。(本稿は、沈家煊・著《著名中年语言学家自选集 沈家煊卷》: 163-190页。合肥: 安徽教育出版社 (2002. 12)。に拠る)
- 张国宪 (2006) 《现代汉语形容词功能与认知研究》。北京: 商务印书馆 (2006. 12)。
- 赵春利・石定栩 (2011) 〈状位情感形容词与述位动词结构同现的原则〉,《汉语学习》第 1 期: 12-21页
- 郑贵友 (2000) 《现代汉语状位形容词的“系”研究》。武汉: 华中师范大学出版社 (2000. 1)。
- 朱德熙 (1956) 〈现代汉语形容词研究〉,《语言研究》第 1 期。(本稿は、朱德熙・著《现代汉语语法研究》: 3-41页。北京: 商务印书馆 (1980. 5)。に拠る)
- 朱文文 (2014) 《现代汉语形容词状补语序选择机制研究》。北京: 中国书籍出版社 (2014. 6)。

### 【用例出典】(参考文献からのものは除く)

- (用法): 郑怀德・孟庆海・编《汉语形容词用法词典》。北京: 商务印书馆 (2003. 12)。
- (重叠): 王国璋・吴淑春・王干楨・鲁善夫・编著《现代汉语重叠形容词用法例释》。北京: 商务印书馆 (1996. 12)。
- (中学生): 晓华・编著《中学生形容词词典》。上海: 少年儿童出版社 (1992. 7)。
- (新编): 安汝磐・赵玉玲・编著《新编汉语形容词词典》。北京: 经济科学出版社 (2003. 4)。
- (多功能): 张寿康・审订《新编现代汉语多功能词典》。北京: 当代中国出版社 (1995. 6)。
- (作文): 鲁允中・主编《作文词典 (增订本)》。北京: 商务印书馆 (1997. 11)。
- (HSK听力自测): 朱子仪・郑蕊・编著《HSK听力自测 高级水平 (1)》。北京: 北京语言文化大学出版社 (2001. 6)。
- (HSK听力理解): 王碧霞・主编《HSK中国汉语水平考试 (高等) 听力理解模拟试题卷30套 录音文本、答案及题解》。北京: 北京语言文化大学出版社 (2001. 2)。
- (日语): 张国强・著《日语常用形容词、形容动词用例》。北京: 北京工业大学出版社 (2005. 3)。
- (小学館): 北京・商務印書館、小学館共同編集『中日辞典 第 2 版』。東京: 小学館 (2003. 1)。

(CCL) : CCL语料库检索系统、北京大学中国语言学研究中心

[http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl\\_corpus/index.jsp?dir=xiandai](http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp?dir=xiandai)

(谷歌) : Google谷歌 <https://www.google.com.hk/>

(雅虎) : 雅虎中国 <http://cn.yahoo.com/>

<https://sg.search.yahoo.com/>

### 【付記】

査読委員の先生方より貴重なご意見、有益なご助言を賜りました。ここに記して感謝申し上げます。